

熊本師範  
學校編輯  
正改  
熊本縣地誌畧  
上

特42  
712

館			
函架號			
室第			
七		三	
二冊	五號	一架	二函

026195-000-0

特42-712

熊本縣地誌畧(改正) 上卷

熊本師範學校/編

M13

ADC-3881



熊本師範學校編輯

# 熊本縣地誌略

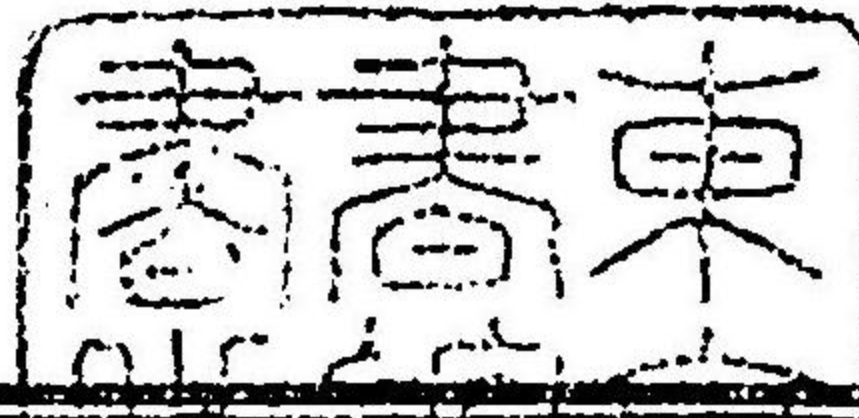
明治十三年三月改正熊本縣

## 熊本縣地誌畧上卷

### 總論

我熊本縣ハ九州ノ中央ニ位シ、肥後全國ヲ治ス、東ハ豊後日向ニ接シ、南ハ日向薩摩ニ界シ、北ハ筑後豊後ニ連リ、西ハ海ニ至ル、東西凡十九里南北凡二十八里、飽田託摩玉山鹿山本菊池合志上益城下益城宇土八代葦北求麻天草ノ十丁リ、村數千百五十九、戸數十九萬八千九百九、人口九十七萬六千七百五十三、地租百壹千七百七拾四圓三拾七錢六厘

耕宅地拾四万四千四百七十七町三反七畝二十三歩ノ租



特42  
712

熊本師範學校編輯

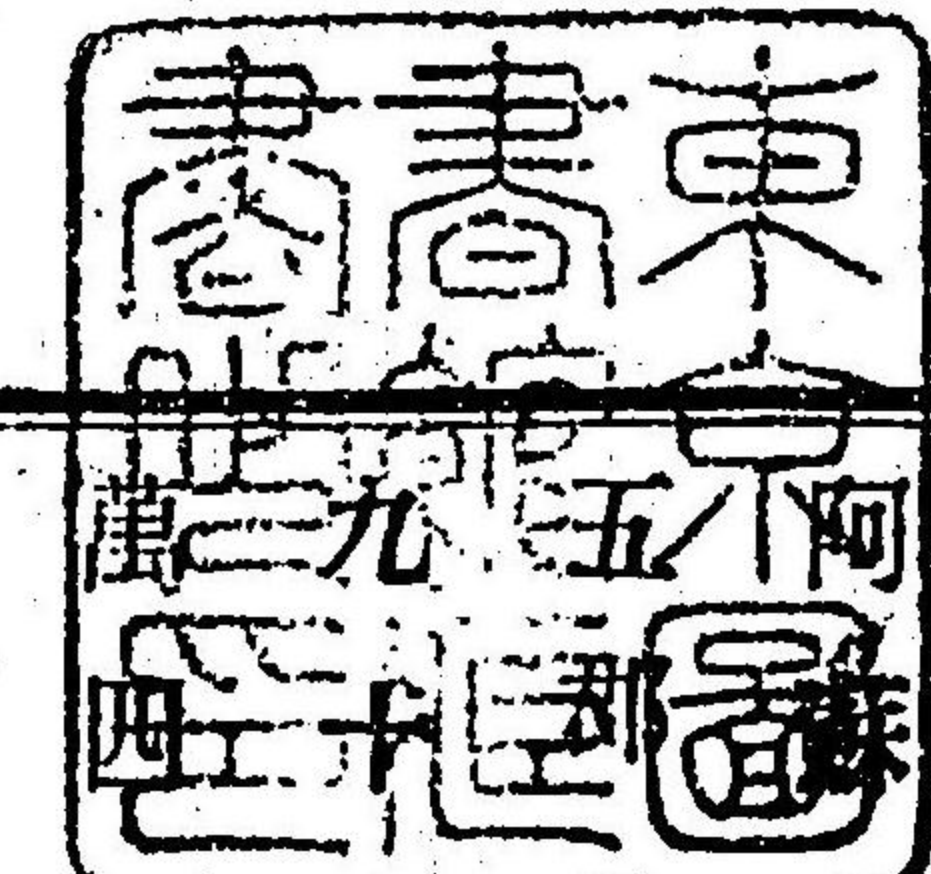
# 熊本縣地誌略

明治十三年三月 改正 熊本縣

## 熊本縣地誌畧上卷

### 總論

我熊本縣ハ九州ノ中央ニ位シ、肥後全國ヲ治ス、東ハ豊後日向ニ接シ、南ハ日向薩摩ニ界シ、北ハ筑後豊後ニ連リ、西ハ海ニ至ル、東西凡十九里南北凡二十八里、飽田託摩玉山鹿山本菊池合志



上益城下益城宇土八代葦北求麻天草ノ十  
リ、村數千百五十九、戸數十九萬八千九百  
九、人口九十七萬六千七百五十三、地租百壹  
千七百七拾四圓三拾七錢六厘

耕宅地拾四万四千四百七十七町三反七畝二十三歩ノ租

特42三  
712

縣廳ハ熊本古城ニアリ、嘗テ支廳ヲ求麻天草阿蘇ニ置キシガ今ハ則管内ニ區役所ヲ設クルモノ一ツ郡役所ヲ設クルモノ十有一、鎮臺ハ熊本城ニアリ、第六軍管ヲ統フ、大學區ハ、元第五大學區ニ屬シ、中學區ハ、十二番ヨリ十八番ニ至リシガ、今ハ則之ヲ廢ス、

阿蘇山正東ニ位シ、其山勢南北ニ走リ、州中ノ諸山概テ其脉ヲ受ク、東南ノ境ニ至リテハ殊ニ峻險ヲ極メ、人跡到ラザル所多シ、西方ハ天草ノ群島肥前ノ島原ニ對ス、地勢東ヨリ漸ク以テ下リ、

飽田託摩ヨリ西南ハ皆平坦ニシテ田野大ニ闢ケ大河四道東西ニ疏通シ、支流州内ニ徧ク運輸灌溉、皆其便ヲ得タリ、然レモ海濱ハ淺斥ニシテ、甚ダ碇泊ニ便ナラズ、土壤膏沃、民物繁庶シテ、嘉穀ノ産九州ニ冠タリ、風俗ハ樸直勇敢、漸次開化ニ赴クノ景況アリ、

大分縣管轄分圖

熊本縣管轄分圖

熊本縣  
管内圖



○	縣廳
回	鎮
市街	郡界
山	川
道路	

鹿兒島縣管轄分圖

鹿兒島縣管轄分圖

64800

大分縣管轄分縣圖

福岡縣管轄分縣圖

熊本縣  
管内圖



鹿兒島縣管轄分縣圖

千 米

飽田郡

東南ハ訖摩合志ニ接シ、北ハ玉名ニ界シ、南ハ宇  
土下益城ノ兩郡ニ連リ、西ハ海ニ瀕ス、東西凡三  
里四丁、南北凡二里廿丁、村數一百ヲ管ス、  
金峯山ハ、郡ノ西端海邊ニ聳エ、肥前ノ溫泉岳  
ト相對ス、山脉左右ニ連リ、其北ニ峙ツテ、經岳  
ト云ヒ、又其北ニ峙ツテ聖徳寺山ト云フ、山本玉  
名ノ兩郡ニ跨ル、或ハ此三岳ヲ稱シテ一岳ニ岳  
三岳ト云フ、東南ハ全ク平行ノ地ニシテ、處々丘  
陵ヲ見ルニ過ギズ、而シテ土地亦肥沃ナリ、殊ニ南

部ハ、田野開墾ノ利ヲ盡セリ、熊本ハ、從來本州ノ城市ニシテ、北緯三十二度四十八分、西經九度五分三秒、東京ヲ距ルコト大凡三百二十六里餘、氣候ハ、寒溫儀三十度ヨリ九十六度ニ至ル、東南ハ、白川ヲ帶ヒ、五町川坪井川區内ヲ貫流シ、市坊三百八十七、戸數九千四百零七、人口四萬四千六百二十アリ、市街ノ尤繁榮ナルハ、古町ヲ以テ第一トス、而シテ新町之ニ次ク、神社ハ藤崎神宮錦山神社アリ、皆縣社ニ係ル、佛寺ハ西光寺延壽寺順正寺アリ、之ヲ三寺ト稱ス、其他阿彌陀寺往生院等アリテ、皆有名ノ大寺ナリ、東西二十二丁餘、南北三十三丁餘、瓦屋櫛比シ、百貨輻湊ス、九州中ノ大都會ナリ、丁丑ノ亂、區内兵馬ノ衢トナリ、兵火ニ罹ルモノ十二八九然レモ、人家屋日ヲ逐テ造營シ、現今ノ反テ面目ヲ一新シ、道路清潔ニシテ、花木ヲ列于植工、殊ニ師範學校中學校醫學校病院等ノ新築ノ如キハ、坪井川ノ東岸ニ並ビ列シ、規模宏大、樓閣輪奐ノ美ヲ極ム、城ハ則樓櫓七層、半天ニ聳工、皆鎮臺ノ所轄トス、縣廳ハ其南端ニアリ、古城ト云フ、鹿子木寂心ノ

彌陀寺往生院等アリテ、皆有名ノ大寺ナリ、東西二十二丁餘、南北三十三丁餘、瓦屋櫛比シ、百貨輻湊ス、九州中ノ大都會ナリ、丁丑ノ亂、區内兵馬ノ衢トナリ、兵火ニ罹ルモノ十二八九然レモ、人家屋日ヲ逐テ造營シ、現今ノ反テ面目ヲ一新シ、道路清潔ニシテ、花木ヲ列于植工、殊ニ師範學校中學校醫學校病院等ノ新築ノ如キハ、坪井川ノ東岸ニ並ビ列シ、規模宏大、樓閣輪奐ノ美ヲ極ム、城ハ則樓櫓七層、半天ニ聳工、皆鎮臺ノ所轄トス、縣廳ハ其南端ニアリ、古城ト云フ、鹿子木寂心ノ



築ク所ナリ、城ノ東端ニ千葉城アリ、出田秀信ノ  
築ク所ナリ、二城ノ址、共ニ熊本城ノ郭内タリ、蓋  
シ此城ハ、加藤清正ノ築ク所、慶長六年、其功ヲ興  
シ、八年ニ至リテ始メテ竣ル、宏壯堅固、西陲ノ雄  
ト稱ス、鹿兒島ノ賊、大軍ヲ以テ、攻撃五十餘日、遂  
ニ拔クヲ能ハスシテ敗ル、是レ固ヨリ主將ノ善  
ク禦クニ因ルト雖、城郭之ガ助ケヲ爲モノ多シ、  
一時丘燹ニ罹リ、大抵焼失スト雖、又新タニ牙城  
ヲ築キ、其儘廢ナルトハ、反テ從前ニ過グル者ア  
リ、而メ兵營ハ巍然トシテ尙舊キニ仍ル、

花岡山ハ、熊本ノ西南ニ位シ、全山開拓シ、級々耕  
地トナル、山甚ダ高カラズト雖、眺望ノ佳ナル、近  
郊第一トス、山ノ東端ニ招魂社アリ、其麓ニ妙解  
寺アリ、現今細川氏ノ邸地トス、奕世ノ墳墓、此寺  
内ニアリ、靈屋塔石、山中ニ駢列ス、  
立田山ハ、熊本ノ東北ニアリ、樹木繁茂シ、山勢北  
ニ延ブ、其巔ニ曾テ豊臣氏ノ廟アリ、加藤氏ノ營  
造スル所、今ハ僅ニ一二ノ礎石ヲ存スルノ三、奉  
勝寺ハ、山ノ南端ニアリ、亦細川氏墳墓ノ地ナリ、  
其西ヲ小峯ト云、官軍戦死ノ人ヲ葬ル、

白川ハ、託摩合志兩郡ノ間ヨリ來リ、託摩ヲ界シ、熊本ノ東南ヲ劃斷シ、架スルニ、長六橋安巳橋明午橋ノ三橋ヲ以テシ、下流南ニ流レ、蓮臺寺村ニ至リテ、西流シ、小島ノ南ヲ過ギテ、海ニ注グ、

高橋川ハ、二源アリ、一ハ山本郡銚田村ニ發シ、五町郷ニ至リ、諸溪水ヲ合セテ、五町川トナリ、曲折南ニ流レテ、井芹川及ビ祓川トナリ、熊本城ノ西ヲ繞リ、熊本ニ入ル、一ハ郡ノ北部、政奇村及ヒ小糸山村邊ヨリ發シ、諸溪水ヲ合セ、南流シテ、飛田村ニ至リ、白川ノ支流ニ會シ、又八景水谷ノ水ヲ

合セ、坪井川トナリ、熊本ヲ貫流シ、市田橋ニ至リテ、祓川ト會シ、漸クニ西流シ、高橋町ヲ過キ、百貫石ニ至リテ、海ニ入ル、

河内川ハ、源ヲ金峯山ノ麓ヨリ發シ、嶽村面木村ヲ經テ、鼓瀑トナリ、下流平山村及ヒ岩戸山ノ小流ヲ合シ、又年魚返ノ小瀑ヲナシ、河内村ヲ貫キ、船津村ニ至リ、海ニ入ル、此村ノ近旁、蜜柑ヲ産スル、州中第一トス、海邊ニ溫泉アリ、浴者多シ、加瀬川ハ、上益城犬淵村ヨリ來リ、野田村ニ至リテ、緑川ニ會シ、分流シテ、杉島ヲ抱キ、小岩瀬村ニ

至リテ、再ビ綠川ト會シ、大迂トナリ、下益城宇土ノ兩郡ヲ界シテ、川口村ニ至リテ、海ニ入ル、大迂ハ、加藤氏ノ時、壩リナス所、蓋シ野田村ニ至リテ、諸川相會シ、地高低ナク、流レ甚ダ緩ク、大雨ノ時、下モ潮汐ト相激スレハ、漲リ溢テ、川尻以西、皆其水害ヲ被ル、是レ其迂折疏通シテ、潮汐ノ勢ヲ殺ク所以ナリ、  
鼓瀑ハ、山間ノ小瀑ナリ、然レモ其名殊ニ著ル、其下ニ阿麻湫ア、岩石重リ出テ形狀甚ダ異ニシテ、亦山間ノ一奇勝ナリ、

離島ハ、一名盜島ト云、小島沖ノ海岸ニアル、一小島ナリ、往時ハ、全ク海中ニアリシガ、今ハ、陸地ト相連リテ、半島ノ形ヲナス、  
北岡神社ハ、縣社ナリ、横手村ノ内北岡ニアリ、若宮神社ハ、八幡村ニアリ、共ニ有名ノ社ナリ、  
本妙寺ハ、熊本ノ西北、花園村ニアリ、加藤氏ノ墳墓アリ、山モ亦本妙寺山ト稱ス、四方來リ謁スル者、陸續トシテ絶ルコトナシ、成道寺ハ、村ノ北部ニアリテ、風致幽邃ノ地ナリ、  
二本樹町ハ、古町村ニアリテ、高橋道ニ當ル、往時

ハ、僅ニ小市廬ナリシガ、兵亂後、頓ニ繁華ノ地トナレリ、

高橋町ハ、熊本ノ西、路程一里二十丁餘ニアリ、高橋川ヲ夾ミ、州内海路ノ要地ナルヲ以テ、商船日ニ輻湊ス、市街甚ク富マズト雖、間々富豪ノ巨屋ヲ見ル、町ノ東南ニ、上代ノ古城アリ、鹿子木親俊ノ築ク所ナリ、

小島町ハ、高橋ノ西、路程一里餘、高橋川白川ノ間ニアリテ、貧富錯雜而ノ亦運輸ニ便ナリ、川尻町ハ、熊本ノ南、路程二里餘、緑川ノ北岸ニ沿

フテ、市坊十二、戸數千零九十五、此地亦舟運ノ便ヲ占メ、人烟稠密、繁盛ノ地ナリ、大慈寺ハ、町ノ東南、野田村ニアリ、寒岩和尚ノ開基ニシテ、有名ノ大寺ナリ、川尻ノ城墟ハ、今ノ外城町ニアリ、河尻實明之ヲ築キテ、奕世據リシ所ナリ、百貫石ハ、高橋川ノ海ニ入ル、埠頭ニアリ、人烟稀少ニシテ、一村落ニ過キザレト、肥前長崎ニ渡ル要津ナリ、河口淺クシテ、巨船ヲ通スルヲ能ハズ、此ヨリ沖ヲ、小島沖ト呼フ、常ニ小蒸氣ヲ泊シテ、往來ニ便ス、

岩戸ハ、鼓瀑ノ上層岩ノ中ニアリ、形チ巨蛤ノ口ヲ張ルガ如シ、内ニ觀世音ヲ安置ス、其深サ測ルベカラズ、洞岩ニ靈岩洞ノ三大字ヲ彫ル、歸化ノ僧、東陵ノ刻スル所ナリ、怪奇ノ觀、此地ヲ以テ第一トス、東ニ雲岩寺アリ、東陵ノ開基ナリ、南ニ山下菴アリ、檜垣姫ノ樓ニシ所、檜垣ハ風雅ノ女ニシテ、國歌ヲ善クシ、曾テ清原元輔ト唱和ス、其塔ハ、蓮臺寺村蓮臺寺ノ内ニアリ、味生池ハ、往昔池、上村池邊寺ノ前ヨリ、北、戸坂村ニ至ルマデ、大ナル池アリシヲ云フ、今ハ悉ク耕

地トナル、

八景、水谷ハ、山室村ニアリ、坪井川ノ水源、半ハ此ヨリ發ス、岸下清水湧出シ、風景幽逸ナリ、谷中八景アリ、因リテ八景水谷ト云フ、往時ノ國府ヲ、古府中ト云フ、南ハ、蓮臺寺ノ前、東ハ、白川、西ハ、高橋道ヲ限レリ、在廳屋敷及ヒ宮寺村等ハ、其遺址ナリ、市田關ハ、今ノ市田橋ノ邊ヲ云フ、國府ノ北ニアリテ、往時關ヲ此ニ置ケリ、物産ハ、蜜柑、素麵、朝鮮飴、綿、麻、繭、生糸、藍、茶、蠟、烟草、菜種、藺席、蜂蜜、七島席等ナリ、

託摩郡

東南ハ、上益城ニ接シ、西北ハ、飽田ニ界ス、東西凡  
四里、南北凡一里三十四丁、村數三十五ヲ管ス、  
全郡田野膏腴ニシテ、地勢平坦、唯東隅一ノ小山  
アルノミ、

白川ハ、北境ヲ流レテ、渠水三條、南ニ灌注ス、一井  
手二并手三并手ト稱ス、全郡ノ水田皆其養フ所  
タリ、

江津湖ハ、源ヲ、今村水前寺ノ池ヨリ發シ、砂取川  
トナリ、下江津村ニ至リ、渺然湖水トナル、周回一

里十五丁餘、下流南ニ注ギ、上益城界ノ加勢川ニ  
入ル、湖ノ中央ニ一小島アリ、竹樹茂密、納涼ノ勝  
地ニシテ、夏月ニ至レハ、游人殆ント虚日ナシ、此  
湖水ニ、鮒及ヒ水苔ヲ生ズ、並ヒニ佳品ナリ、  
代繼神社ハ、本庄村ニアリ、健軍神社ハ、阿蘇三攝  
社ノ一ニシテ、健軍村ニアリ、皆郡中有名ノ社ナ  
リ、健軍社前八町ノ間、松杉ヲ左右ニ列植ス、八町  
馬場ト稱ス、加藤清正、軍馬ヲ練練セシ所ナリ、  
國分寺ハ、今村ニアリ、乃チ天平十三年諸國ニ詔  
シテ、國分寺ヲ建テシムル、其一ナリ、元ト、大寺ナ

リシガ、中ゴロ廢ス、今一小宇ヲ建テ、其跡ヲ存ス、

迎町ハ、長六橋ヨリ南ニ連リ、市坊一ツ、薩摩街道御船往還南郷往還ノ起ル所ニシテ、市街甚タ繁盛ナリ、白川町ハ、新屋敷ニアリ、小市塵ナリ、

訖摩原ハ、健軍村ノ西北ヲ云フ、菊池武朝ノ、今川貞世、大内義弘ヲ敗リシ所ナリ、

旦過瀬ハ、世安村白川ノ流ニアリ、甲斐宗運ノ、城親賢ト、鏖戰ノ地ナリ、

本山ノ城墟ハ、訖摩別當宗直ノ築キシ所、其子孫、

數世之ニ據レリ、

成趣園ハ、水前寺ニアリ、舊藩主人別業ナリ、假山泉石ノ觀、全州ノ最タリ、今ハ則細川氏祖先ノ祠廟ヲ、此地ニ造營ス、

勸業場ハ、大江村ニアリテ其結構、頗ル美麗ヲ極ム、繰織製糸、其他諸般ノ作業、概ネ蒸氣或ハ水車器械ヲ用ユ、鑛工場ハ、本庄村ニアリ、養蠶場ハ、九品寺村ニアリ、  
物産ハ、水前寺苔、晒葛、鑛器、繭、生糸、藍、茶、蠟、煙草、紙、蜂蜜、菜種等ナリ、

玉名郡

東南ハ、山本山鹿飽田ニ接シ、西南ハ、海ニ枕三、北  
ハ、筑後ニ界ス、東西凡三里三十四丁、南北凡五里  
十二丁、村數百六十七ヲ管ス、

小代山郡ノ中央ニ峙チ、其東北ハ、日間山ニ連リ、  
其西南ハ、海ニ沿テ平地多ク、加フルニ海墾ノ地  
ヲ以テシ、全ク平坦ノ地タリ、

小代山ハ、又墨摺山ト云フ、郡中ノ鎮山トス、其形  
七面一樣ノ看ヲナス、小代ハ、其總稱ニシテ、天狗岳  
筒岳觀音岳等ノ峰巒高ク聳エテ、樹木繁茂ス、筒

岳ニ城址アリ、小代八郎行平ノ築キシ所ニシテ、子  
孫世々之ニ居ル、又開田ノ城墟アリ、大野氏ノ據  
リシ所ナリ、山ノ北ニ宮尾村アリ、古ヨリ陶器ヲ  
出ス、小代燒ト稱ス、

木葉山ハ、又靈雨山ト云フ、木葉町ノ北ニ峙チ、樹  
木繁鬱ス、城墟アリ、小森田將監ノ據リシ所ナリ、  
山腹多ク石灰ヲ出ス、

花群山ハ、木葉山ノ北、日平村ニアリ、山上ニ城址  
アリ、小森田又次郎ノ據リシ所ナリ、

轟岳ハ、關東村ノ内ニアリ、又大津山ト云フ、大津



山資基ノ城址アリ、此山麓ニ關アリシヲ、松風關ト云フ、今ハ則福岡縣ニ屬ス、

久重山ハ、小代山ノ北ニアリテ、筑後三池トノ境界ヲ限レリ、

菊池川ハ、又高瀬川ト云フ、山鹿ヨリ來リ、郡ノ東部ヲ横斷シ、諸流ヲ合セテ南流シ、高瀬町ヲ過キ滑石村ニ至リテ海ニ入ル、

木葉川ハ、源ヲ山本郡ニ發シ、木葉町ヲ過キ、西流シテ菊池川ニ入ル、

坂下川ハ二源アリ、一ハ、小代山ノ麓ヨリ發シ、一

ハ、小原村ノ山間ヨリ發シ、下坂下村ニテ二川相合シ、内田村ニ至リテ、菊池川ニ入ル、

久井原川ハ、相谷村ノ田野ヨリ發シ、肥猪村久井原村等ヲ經テ、菊池川ニ入ル、

岩村川ハ、山鹿郡平山村ノ山野ヨリ發シ、岩村及ビ下津原村ニ至リテ、菊池川ニ入ル、

石貫川ハ、小代山ノ麓ヨリ發シ、石貫村ヲ經テ南流シ、繁根木村ト、高瀬町ノ間ヲ貫キテ、菊池川ニ入ル、

江田川ハ、山本郡ノ内ニ發シ、日平蜻浦等ノ諸川

ヲ合セテ、用木村及ビ江田村ヲ經、西流シテ、菊池川ニ入ル、

燒米川ハ、米野谷ニ發シ、山鹿ノ境ニ沿テ北流シ、燒米村ニ至リテ、菊池川ニ入ル、

十丁川ハ、山鹿郡四丁村ノ内ヨリ發シ、上十丁村ニ入り、板橋津田ノ二村ヲ經、平野村ニ至リテ和仁川ニ合ス、

和仁川ハ、和仁山中ニ發シ、南流シテ、吉地村及ビ大田黒村等ヲ經、平野村ニ至リ、十丁川ヲ合セテ、菊池川ニ入ル、

墨摺川ハ、關外目村ノ山間ヨリ發シ、關村ノ内ニ於テ、關川ニ入ル、

關川ハ、關東村ノ山間ヨリ發シ、關町ノ南端ヲ流レ、墨摺川ヲ合セテ西流シ、久重村ニ至リ南ニ折レ、今村及ビ宮尾村ヲ經テ、又西流シ、筑後ノ界ニ沿フテ、遂ニ筑後ニ入ル、

浦川ハ、池河原ノ陂池ヨリ發シ、増永村藏滿村ヲ經、長洲町ニ至リテ海ニ入ル、

硯川ハ、小代山ノ半腹ヨリ發シ、樺村ヲ經、川登村ニ至リテ、菰屋川ニ入ル、

菰屋川ハ、平山村及ビ府本村ニ發シ、南ニ流レ、川登村ニ至リ、硯川ヲ合セ、宮野村永鹽村等ヲ經、南流シテ海ニ入ル、

山田川ハ、小代山ノ溪谷ヨリ發シ、築地村ニ至リ南流シ、滑石村ニ至リテ、高瀬川口ニ注グ、

友田川ハ、上流ヲ開田川ト云フ、源ヲ開田村ヨリ發シ、南流シテ、浦村及ビ扇崎村等ヲ經、海ニ入ル、苧漕川ハ、一名九漕ト云フ、尾田村ヨリ發シ、西流シテ竹崎村ヲ經、海ニ入ル、此間流レ長カラズト雖、曲折甚ダ多シ、

温泉ハ、富尾村立願寺村小天村ノ諸村ニアリ、浴客頗ル多シ、

疋野神社ハ、立願寺村ニアリ、肥後國四社ノ一ニシテ、阿蘇ノ三社ト共ニ、式内ニ係ル、繁根木神宮ハ、繁根木村ニアリ、女石神宮ハ、沖洲村ニアリ、伊倉町ニ、南北、八幡神宮アリ、共ニ有名ノ神社ナリ、廣福寺ハ、石貫村ニアリ、亦有名ノ佛寺ナリ、高瀬町ハ、熊本ノ西北、路程六里餘ニアリ、市坊五、戸數五百十二、高瀬川ニ據リテ、海ヲ距ル一遠カラス、固ヨリ舟運ノ便ヲ占メ、富豪頗ル多シ、其繁

榮郡中第一二居ル、往昔ハ、唐船此地ニ着シ、入唐ノ人モ、多ク此地ヨリ拔錨ス、伊倉町ハ、其東南ニアリテ、亦一ノ市街ヲナス、兩町ノ間ニ、船津村アリ、往時三韓入船ノ津ト云フ、加藤氏ノ時、堤坊ヲ海口横島村ニ築キ、悉ク田地トナル、川アリ唐人川ト云フ、南流シテ海ニ入ル、大濱町ハ、高瀬川ノ末流ニアリ、木葉町ハ、木葉山ノ南麓ニアリ、此地古ヨリ、粗造ノ陶器ヲ出ス、其近旁ニ、官軍戰死ノ人ヲ葬ル、長洲町ハ、長洲ノ海ニ瀕シ、大島町ハ、長洲ノ北、筑

後ノ界ニアリ、大抵共ニ、漁ヲ以テ業トナス、關町ハ、熊本ノ北、路程十里三十五丁餘、山間ニアリ、關川其前ヲ流レ、筑後ニ赴ク街道ナリ、戸口市街、高瀬町ニアク、近旁ノ地ニ、官兵ノ戰死ヲ、埋葬セシ所アリ、肥猪町ハ、關町ノ東南ニアリ、一小市塵ナリ、築地村ハ、景行天皇西巡ノ時、行宮ヲ設ケシ所ナリ、當時腹赤ノ魚ヲ獻スル者アリ、天皇之ヲ嘉ス、此レ腹赤贄ノ名、由テ起ル所ナリ、高瀬町願行寺ニ、官兵ノ戰死ヲ、埋葬セシ所アリ、

治工菊池延壽ノ後、同田貫村ニ住シ、世々其業ヲ脩ム、刀劍ノ同田貫ト稱スルモノハ、此地ヨリ出ヅ、

物産、蜜柑、素麴、陶器、香蓆、松茸、綿麻、繭、生糸、竹器、藍、茶、甘蔗、楮、烟草、菜種、藺、席、蜂蜜、鹽、乾蝦等ナリ、

山鹿郡

東ハ菊池、西ハ玉名、南ハ合志、山本ノ兩郡ニ接シ、北ハ筑後ニ界ス、東西凡四里廿五丁、南北凡五里十一丁、村數六十四ヲ管ス、  
菊池郡、矢筈岳ノ山脈、東北隅ヨリ郡中ニ起伏シ、

男岳、女岳、姫岳ノ三岳、西北ニ相並ビテ、筑後、柳川ニ連ル、彦嶽、日輪寺岳、震岳、蒲生山、日岳等、其南ニ列峙シ、唯菊池川ヲ夾ミテ、東西一帯ノ平地アルノミ、

米野岳ハ、郡ノ西南ニ聳ユ、城墟アリ、佐伯氏ノ據リシ所ナリ、

菊池川ハ、郡ノ東南隅ヨリ來リ、分田村ニ至リテ、合志川ヲ容レ、西北ニ流レ、山鹿町ヲ經、西流迂折シテ玉名ニ入ル、

吉田川ハ、二源アリ、一ハ久原村ヨリ、一ハ蒲生村

ヨリ發シ、下吉田熊入兩村ヲ經テ、菊池川ニ入ル、  
鍋田川ハ、源ヲ多父村ノ内茂田井ノ山中ニ發シ、回  
折南流シ、津留村城村杉村ノ諸村ヲ經、鍋田村ニ  
至リテ、菊池川ニ入ル、  
内田川ハ、源ヲ矢谷村ニ發ジ、下流木野川ニ會シ  
テ、菊池川ニ入ル、

梅井ハ、集雲寺ノ中ニアル、冷水ナリ、井傍ニ古梅  
樹アリ、故ニ梅井ト云、

山鹿神宮ハ、山鹿町ノ東端ニアリ、毎歲祭日、土人没  
骨燈ヲ獻ズ、蓋シ没骨燈ハ、紙ヲ以テ、樓閣城櫓等

ヲ縮製シ、高サ或ハ丈餘ニシテ、皆骨ヲ用井ズ、其  
巧緻人目ヲ驚カス、日入テ廬前ニ列ネ燭ヲ燃ス、  
巷街晝ノ如シ、亦一奇觀ナリ、

日輪寺ハ、杉村ニアリ、菊池武時ノ修ムル所、有名  
ノ佛刹ナリ、多ク古文書ヲ藏ス、金剛乘寺ハ、山鹿町ニ  
アリ、弘法大師ノ開基ト云、亦有名ノ寺ナリ、相良  
寺ハ、相良村ニアリ、傳教大師ノ開ク所ナリ、今ハ  
則廢寺トナル、

山鹿町ハ、熊本ノ北、路程六里二十一丁餘ニアリ、市  
坊九、戸數八百七十、九州街道ニ據リ、菊池川ノ便

ヲ占メ、而、溫泉市中ニ湧キ出、其浴場ハ、皆黑白  
二様ノ、石ヲ劊シテ疊ニ成シ、清潔綺麗ナル、九  
州第一トス、四方來リ浴スル者、年ニ萬ヲ以テ數  
ブ、其繁榮、北地ノ一都會ナリ、外ニ熊入平山石村  
ノ溫泉アリ、殊ニ平山ハ、能ク癩疥ヲ治スルヲ以  
テ、浴者少カラズ、  
來民町ハ山鹿町ノ東、路程一里ニアリ、亦一小市ヲ  
ナス、

涅槃岩ハ、小原村ニアリ、菊池川ノ懸崖ナリ、長サ  
二百間餘、高サ四十間許、涅槃像半身ノ形ニ類ス、

夕陽月夜ハ、其影潭中ニ落テ、釋尊全身ノ狀ヲ見  
ル、故ニ涅槃岩ト稱ス、

不動岩ハ、蒲生村山中ニアリ、突立四十餘尋、宛モ  
人ノ立テルカ如シ、苔蘚纏ヒ繞テ攀ズヘカラズ、  
實ニ一奇岩ト云フベシ、

隈部ノ古城ハ、上長野村ニアリ、猿返城ト云、隈部  
親永ノ築ク所ニシテ、峻陔斗絶ナリ、牙城及口館  
舍ノ礎石、今尙存セリ、

物産ハ、砂糖、晒葛、鉄器、綿、麻、繭、生糸、藍、茶、甘蔗、楮、蠟、  
檀、實、烟草、七島席、紙、蘭席、蜂蜜、椎茸、茶種、竹器、團扇

等ナリ、

山本郡

東南ハ、合志飽田ニ接シ、西北ハ、玉名山鹿ニ界シ、東西凡二里五丁、南北凡二里一丁、村數四十七ヲ管ス、

國見山那智山ノ諸山、玉名郡ノ界ニ列リ、平尾山岩野山等ハ、味取町ノ東ニ相連リ、特ニ高山ナシ、  
ト雖、丘陵起伏シテ、平地甚タ乏シ、

合志川ハ、郡ノ正東ヨリ來リ、平井村ニ至リ、豊田川ヲ合セ北流シ、田底村ニ至テ、山鹿ニ入ル、

那智川ハ、源ヲ上古閑村及ヒ轟村ニ發シ、豊岡村ニ至リ、富應村ノ小流ヲ合シ、玉名ニ入リテ、木葉川トナル、

米塚村ノ内字慈恩寺ニ温泉アリ、泥土中ヨリ出テ、甚ダ熱セズ、

巖島神宮今宮神社ハ、山本村ニアリ、郡中有名ノ社トス、

植木町ハ、熊本ノ北、路程二里三十四丁餘、山鹿ニ赴ク宿驛ナリ、丁丑ノ亂戰衢トナリ、悉ク兵火ニ罹ル、味取町ハ、驛路ニ傍フ一市廛ナリ、木留町ハ、



西南隅ニアリ、亦一小市ナリ、悉ク兵火ニ罹ル、  
 菱形八幡神宮ハ、圓臺寺村ニアリ、往古ハ大社ナ  
 リシガ、今ハ破壊ス、菱形池ハ、那智川ノ邊リニア  
 ル小池ヲ呼ブ、其形菱ニ似タリ里俗八幡大神、託  
 宣出現ノ地ト云、又小野村ニ、泉石ノ佳所アリ、小  
 野泉水ト稱ス、里俗傳ヘ云、小野小町ノ生レシ所  
 ナリトゾ、  
 下野ノ城墟ハ、内空閑基貞ノ築ク所、其子孫之ニ  
 據リ、島津氏ト戦争ノ地ナリ、  
 田原坂ハ、植木町ノ西一里餘、豊岡村ニアリ、高瀬

往還ノ險坂トス、丁丑ノ亂賊軍砲疊ヲ、坂頭ニ築  
 キ、官軍ヲ支フル、二十餘日晝夜銃丸織ルガ  
 如ク、草木之ガ爲メニ挫折シ、一時寸膏ノ目ヲ遮  
 ルナシ、

吉次嶺ハ、高瀬町ニ赴ク別路ナリ、賊將篠原某、昔  
 戰シテ此地ニ死セリ、  
 物産ハ、麻、繭、生糸、茶、楮、烟草、菜種、蘭席、大根等ナリ、

菊池郡

東南ハ、阿蘇合志ニ連リ、西ハ、山鹿ニ接シ、北ハ、豊  
 後筑後ニ界ス、東西凡四里廿四丁、南北凡四里九

丁、村數五十四ヲ管ス、

鞍岳ノ脉、郡ノ東境ニ連綿シ、北、深葉木護ノ諸山ニ接シ、矢筈岳ハ、西北隅ニ峙テ、山鹿及ヒ豊後界ニ盤マリ、無比險峻、八面一樣ノ看ヲナス、故ニ又八方岳ト呼ブ、鳳儀女鞍丸岳ノ諸山、其間ニ起伏蟠蜒セリ、而シテ隈府ヨリ西南ハ、皆平行ノ地ニシテ、田野大ニ闊ク、土地肥饒、稻粱ノ美、全州第一トス、

菊池川ハ、一名山鹿川又高瀬川ト云、但過ル所ノ名ニ因リテ、其稱呼ヲ異ニスルノミ、源ヲ、原村深

葉山ニ發シ、西南ニ流レ、高島村ヲ經テ北流シ、追間川ヲ容レ、山鹿ニ入ル、

合志川ノ一源、原村ノ内ヨリ發シ、伊萩村ヲ經テ合志ニ入ル、

追間川ハ、鳳儀山矢筈岳等ノ諸流、相合シテ川ヲナシ、隈府町ヲ經、加惠村ニ至リテ、木野川ニ入ル、木野川ハ、源ヲ矢筈岳ヨリ發シ、禰方池永諸村ノ小流ヲ合セ、山鹿ヲ界シテ西南ニ流レ、石淵村ニ於テ、内田川ニ入り、加惠村ニ至リテ、追間川ニ會シ、菊池川ニ入ル、

河原川ハ、原村ノ内ヨリ發シ、下河原村ヲ繞リ辰巳ヨリ、戌亥ニ流ル、故ニ又辰巳川ノ稱アリ藤田村ニ至リテ、菊池川ニ入ル、

大瀑ハ、一名細永瀑ト云、原村菊池川ノ流レニアリ、勢返ノ瀑ハ、長野村追間川ノ流レニアリ、

菊池武光ノ墓ハ、正觀寺ニアリ、明治中興ノ後新ニ菊池神社ヲ隈府ノ城墟ニ建ツ、堂宇宏壯ニシテ、風景絶ダ佳ナリ、而ノ社格官幣ニ列シ、奕世勤王ノ義ヲ表ス、人盛典ヲ仰ガザルナシ、

北宮神社ハ、菊池武政ノ建ル所ナリ、社ニ征西將

軍ノ軍配扇ヲ藏ス、

孔子堂ハ、隈府町ノ東北隅ニアリ、菊池重朝ノ釋奠ノ禮ヲ行ヒシ所ナリ、

東福寺ハ、亘村ニアリ、北福寺ハ、袈裟尾村ニアリ

菊池武光建ル所ノ、五山ノ二ナリ、西福寺南福寺及ビ大珠寺ハ、皆既ニ廢墟トナル、

隈府町ハ、熊本ノ北、路程六里七丁ニアリ、市坊八、戸數六百四十九、市街稍繁盛、富豪ノモノ多シ、菊池ハ、深川村林叢中ニ、廢池アリ、土人此ヲ以テ之ニ充ツ、其實否ヲ詳カニセズ、

菊城ノ城墟ハ、深川村ノ東ニアリ、菊池氏ノ祖、大  
夫將監則隆ノ築ク所ニシテ、數世之ニ據ル、武政  
ニ至リテ、隈府ノ城ニ移ル、

隈府城ハ、守山城ト云、菊池武政之ヲ築ク、東南  
北ハ、峻山重嶺、虎口斑蛇口等ノ險ヲ負ヒ、菊池迫  
間ノ二川ヲ、左右ニ控引シ、只西方一面、平野ニ枕  
ム、而シテ都城十八郡中ニ排列ス、實ニ金湯ノ固メ  
アリテ、英雄武ヲ用ツルノ地ナリ、其舊址今尙存  
ス、

鳳儀山ハ、斑蛇口村ノ奥ニ在リ、大智禪師ノ開基

聖護寺ノ迹アリ、

水島臺ハ、臺村ニアリ、菊池武朝ノ、今川貞世、大内  
義弘ヲ拒ギシ所ナリ、

物産ハ、鮎、綿、麻、繭、生糸、藍、茶、樫實、楮、蠟、烟草、茶種、椎  
茸、蜂蜜、蒟蒻、菊池苔等ナリ、

合志郡

東ハ、阿蘇ニ接シ、南ハ、白川ヲ以テ、阿蘇上益城託  
摩ヲ界シ、西ハ、飽田山本ニ交リ、北ハ、山鹿菊池ニ  
連ル、東西凡五里十一丁、南北凡一里廿一丁、村數  
五十五ヲ管ス、

鞍岳ハ、東境ニ聳ヘ、郡中ノ鎮山トス、菊池阿蘇ノ  
兩郡ニ跨ル、絶頂馬鞍ニ似タリ、故ニ名ク、其餘脉  
彌護山ニ連リ、地勢漸フ以テ下リ、西邊ハ、概ネ平  
坦ニ屬ス、往時、山本ト一郡ナリシヲ、後世之ヲ分  
チテ二郡トナス、

合志川ハ、三源アリ、一ハ郡ノ東部、彌護山ヨリ發  
シ、眞木村彌護川村等ヲ經テ、住吉村ニ至ル、一ハ  
麓村ヨリ發シ、北流シテ新明村ニ至ル、一ハ菊池  
ヨリ來リ、新明村ニ至リ、麓村ノ流レト合シ、西流  
住吉村ニ至リテ、彌護川ト合シ、合志川トナリ、西

流シテ、田島村ニ至ル、此ノ間、許多ノ池水ヲ容レ、  
山本ニ入ル、

白川ノ水、郡ノ東南、瀬田村ヨリ分派シテ、西流シ、  
大津町ヲ貫キ、須屋村ニ至リテ、飽田ニ入り、坪井  
川ニ會ス、是ヲ堀川ト呼ブ、

彌護澤ハ、彌護川ニアリ、傍ニ曠原アリ、青野原ト  
云、

碧岩寺ハ、龜尾村ニアリ、菊池爲邦、雜髮シテ碧岩  
集ヲ講ズ、既ニゾ此寺ヲ建テ、碧岩ト號ス、今ハ僅  
ニ小宇ヲ存ス、

新町ハ、驛路ニ旁フ一市廛ナリ、大津町ハ、熊木ノ東、路程五里餘、豊後ニ通スル宿驛ニシテ、市廛頗ル繁シ、此ヨリ東ハ、即チ二重峠トナル、原水村ノ内、鉄砲小路アリ、從來砲卒ノ住セシ所ニシテ、人家一帯ニ連亘シ、其流レ、凡一里餘ニ及ブ、

竹迫町ハ、亦一小市ナリ、町ノ背ニ半高山アリ、此山ト羣山ノ間ヲ、珠數原ト云、

竹迫ノ城墟ハ、中原師員ノ築キシ所ニシテ、奕世之ニ據リ、氏ヲ合志ト改ム、後島津氏ノ、畧有スル

所トナル、

合志原ハ、菊池武政ノ、今川貞世大内義弘ト戦テ、之ヲ破リシ古跡ナリ、

物産ハ、鉄器、麻、繭、生糸、藍、茶、楮、蠟、烟草、菜種、蘭席、竹器等ナリ、

### 阿蘇郡

東北ハ、豊後ニ界シ、南ハ、日向ニ隣リ、西ハ、菊池合志上益城ノ三郡ニ接ス、東西凡六里二十一丁、南北凡七里十四丁、村數四十七ヲ管ス、郡元ト肥後ト別國ナリ、後肥後ニ屬シテ郡トナル、

高山峻嶺、四境ニ聯立シ、中間ハ、原野廣漠トシテ  
 處々短矮小、草木ヲ見ルニ過ギズ、地勢極メテ高  
 クシテ、高原ノ地ハ、大略飽田ノ、金峰山ト平行ス  
 ベシ、是ヲ以テ、寒氣最モ著シク、人口モ亦、繁殖ス  
 ルヲ能ハズ、阿蘇ノ高山ハ、郡ノ中央ニ突起シ、一  
 帶ノ平地此ノ山ヲ包繞ス、北ヲ阿蘇谷ト稱シ、南  
 ヲ南郷谷ト稱ス、土質荒瘠ニシテ、甚タ耕作ノ便  
 ニ乏シ、

阿蘇山ハ、一名雲生岳又赤膚山ト云、異邦ヨリ其  
 號ヲ獻シテ、壽安鎮國山トス、九州ノ鎮山ナリ、郡

ノ中央ニ聳テ、山勢左右ニ走リ、北ハ久住ノ高岳  
 ヲナシ、南ハ大矢ノ諸山ニ連ル、其最高ヲ高岳ト  
 云ヒ、之ニ亞クテ、中岳杵島岳鳥帽子岳根子岳ト  
 云、之ヲ稱シテ、阿蘇ノ五岳ト呼フ、中岳ニ大池ア  
 リ、經リ十町餘、深サ數十丈、硫水沸騰シテ、常ニ烟  
 火ヲ噴出ス、甚シキトキハ、熱湯ヲ流出シ、又時ト  
 シテハ、石礫ヲ飛シ、其害ヲ蒙ルヲアリ、  
 涌蓋山ハ、郡ノ北部ニアリテ、豊後ニ界ス、小國郷  
 中ノ、高山ニシテ、久住山ノ朽網山ト相等シ、男岳  
 女岳アリ、男岳ハ元ト豊後府内領ニ跨リ、女岳ハ

延テ北里ニ至ル、其總稱ヲ涌蓋山ト云、頂上ニ登  
 レバ、隣州ノ山海眼下ニアリテ、眺望殊ニ絶佳ナ  
 リ、  
 車坂山ハ、其頂ヲ二重峠ト呼ブ、郡ノ西部、合志ニ  
 界ス、豊後ニ通スル街道ナリ、甚ダ高カラズト雖、  
 道路險惡ナルヲ以テ、頗ル行人ノ難ズル所ナリ、  
 三方山ハ、郡ノ東南隅ニアリ、白岩山矢筈岳國見  
 岳鏡山等相連リテ、共ニ日向ノ界ニ接ス、  
 祖母山ハ郡ノ東部ニ聳ル高山ナリ、而シテ其山脚  
 ハ、日向豊後ノ兩州ニ跨ル、

俄山ハ、布田郷ニアリ、南郷ノ往還、總テ此山ニ路  
 ス、險坂七折アリ、因リテ又七曲ト稱ス、  
 緑川ハ、源ヲ三方山ヨリ發シ、木原谷村ニ至リテ、  
 宇計ノ瀑布ヲナシ、直ニ西流シテ、上益城ニ入ル、  
 白川ハ、南郷白川村ニ發源シ、西北ニ流レテ、河陽  
 村ニ至リ、黒川ヲ合セテ西ニ注ニ、合志ヲ界シテ  
 上益城ニ入ル、  
 黒川ハ、阿蘇山ノ北麓黒川村ニ發シ、北流シテ黒  
 流村ニ至リ、手野川及ビ諸溪水ヲ集メテ、西流シ、  
 内牧ヲ經テ、又西南ニ轉シ、屈折鏡匱ノ形ヲナン、



南郷、黒川村ニ至リテ、數鹿流ノ大瀑ヲナシ、下流  
白川ニ會ス、

杖立川ハ、二源アリ、一ハ小國郷獵師岳ニ發シ、田  
野原川トナリ、西北ニ流レテ、宮原町ヲ過キ、市原  
川ヲ合セテ土田、瀑ヲナス、一ハ湯風呂谷等ニ發シ  
中原川トナリ、下流湯田川ヲ合セ西北ニ流レ又黒  
淵ヲ容レ北流シテ、土田、瀑ノ下流ニ會シ涌蓋山  
ヨリ來ル、幸野川及ビ長田川ヲ并セ、西北ニ流レ  
テ、下城村ノ内、杖立ヲ經、少シク西ニ轉シ、志屋川  
ト會シ、遂ニ豊後ニ入リテ、大山川トナリ、日田ヲ

經テ干歲川トナル

志屋川ハ、本流豊後ノ津江ヨリ來ル、之ヲ津江川  
ト云、下流黒淵村ニ至リ、同村ノ内ヨリ發スル、手  
水野川ヲ合セ、志屋川ト稱ス、豊後ノ境ニ沿フテ  
北流シ、志屋ヲ過キテ、杖立川ニ會ス、  
手野川ハ、手野村ヨリ發シ、下流黒川ニ入ル、  
山鹿川ハ、田尻村ヨリ發シ、山鹿村ヲ經、東下シテ  
豊後ニ入ル、

郡中ノ瀑布、尤モ大ナルモノハ、數鹿流、瀑土田、瀑  
トス、其他城村、瀑ハ、小國郷黒淵村ニアリ、黒淵川

ト云、牛落、瀑ハ、南郷、矢津田村ニアリ、竿渡、瀑ハ、南郷、竿渡村ニアリ、其流レ東下シテ、日向ニ入ル、白糸、瀑ハ、小國郷、下城村ニアリ、千條、奔流シテ、糸ヲ晒スカ如シ、眞ニ其名ニ負カズト云フ、郡中、温泉甚ダ多シ、杖立湯ハ、下城村、杖立川ノ兩岸ニアリ、能ク金創ヲ治ス、黒川湯、満願寺湯、田野原湯ハ、満願寺村ニアリ、地獄湯、欄木湯、垂玉湯ハ、河陽村ニアリ、湯谷湯ハ、長野村ニアリ、其餘、岐湯、奴留湯、寺小野湯等アリ、黒川ノ上流ニ、山間ノ小川アリ、常ニ硫黄ヲ混ス

ル、冷水ヲ湧出シ、勢日沸鼎ノ如シ、里俗之ヲ稱シテ、寒地獄ト云、

阿蘇神社ハ、宮地町ニアリ、國幣ノ中社トス、兩神社アリ、一ノ健甞龍命ヲ祭り、一ハ阿蘇津媛國造等ノ、十二座ヲ祭ル、規模宏壯、州中ノ大祠ナリ、市ノ南隅ニ、大宮司ノ邸第アリ、大宮司始ハ、矢部郷岩尾、館愛藤寺、城等ニ移住ス、加藤氏ノ時、邸ヲ此地ニ設ケ、子孫今ニ至リテ、此ニ住ス、北宮神社ハ、手野村ニアリ、速瓶玉命ヲ祭ル、社内、ニ、ナ杉ニ株アリ、蓋シ九百年ノ物、今枯株ノ一ヲ

存ス、

滿願寺ハ、北條時定、龜山帝ノ勅宣ヲ受ケテ、建立スル所ナリ、往時ハ、有名ノ大寺ナリシガ、今ハ僅ニ、其坊舎ヲ存ス、寺内ニ、北條氏奕世ノ石碑アリ、内牧町ハ、大津町ノ東、路程六里廿四丁、坂梨町ニ赴ク驛路ナリ、黒川ニ瀕シ、戸口頗ル多シ、往時ハ、陸地往來ノ多キヲ以テ、稍繁盛ナリシガ、現今ハ漸次衰弊ニ就ク、明治十年、此地ニ支廳ヲ置シガ今ハ則チ郡役所トナル、

宮地町ハ、内牧町ノ東、路程二里餘、阿蘇山ノ正北

ニアリ、人烟稍稠密ナリ、

坂梨町ハ、内牧町ノ東、路程三里、豊後ニ通スル宿驛ナリ、此ヨリ東ニ高原アリ、波野原ト呼ブ、豊後直入郡ニ接シ、東西二里餘、南北四里餘、村落ニ近キ地ハ秣場トス、

坊中町ハ、阿蘇山ノ北麓、黒川村ニアリ、阿蘇山ノ衆徒、及び行者ノ坊舎アリ、故ニ坊中ト名ク、往昔ハ、三十七坊アリシガ、今ハ衰頽シテ、一村落ニ遇ギズ、

市原町ハ、僅ニ一市廛ナリ、内牧ノ北、路程四里餘

高原渺漠トシテ、人跡甚ダ稀ナリ、旅客此ニ至リテ、始メテ人烟ヲ見ル、

宮原町ハ、市原町ノ北、路程一里ニアリ、豊後ニ通スル別路ナリ、其地僻陬ト雖、商旅相輻リ、戸口頗ル多シ、小國郷中、最モ繁盛ノ地ナリ、市外ニ舊キ池アリ、鑑池ト云、水中ニ、經リ四五寸ノ、圓鏡數面アリ、岩間ヨリ、時々出入ス、奇トシテ之ヲ取ルモノナシ、

津留町ハ、祖母山ノ西麓ニアリ、州中極寒ノ地ナリ、而ノ一小市廛ニ過ギズ、日向ニ通フ別路トス、馬見原町ハ、濱町ノ東、路程五里八丁餘、東南隅ニアリテ、日向ニ通スル街道ナリ、馬見原川ニ瀕ス、其河水東流シテ日向ニ入ル、人口頗ル繁ク、且豪富ノ者甚ダ多シ、蓋シ日向ノ、延岡高千穂等ト物産ヲ融通シ、商旅ノ往來、概ネ絶ルコナシ、高森町ハ、南郷谷ニアリ、戸口稍多クシテ一ノ市街ヲナス、新町ハ此地ヨリ西ニ距ルコト、路程一里許、市廛高森ニ若カズ、内牧ノ城墟ハ、加藤右馬允ノ據リシ所、高森ノ城墟ハ、阿蘇ノ家臣、高森惟直ノ據リシ所、櫻尾ノ城

墟ハ、涌蓋山ノ麓、櫻山ニアリ、北里氏ノ祖先、綿貫  
妙義ノ築キシ所石櫃ノ城墟ハ北里村ニアリ、北  
里氏、奕世之ニ據リテ、豊前豊後口ニ備ヘシ所ナ  
リ、

下野狩場ハ、杵島岳ノ麓ニアリ、往古健磐龍命、遊  
獵ノ地ナリトゾ、其後毎歲二月、大宮司及ヒ神官  
等猪鹿ヲ射テ神前ニ供ス、建久中、右大將賴朝ノ  
富士野ニ狩スルヤ、此狩ノ式法ヲ取レリ、今ハ則  
之ヲ廢ス、

霜宮ハ、竹原村ニアリ、其東ニ火燒屋アリ、毎歲七  
月七日ヨリ、九月八日ニ至ルマテ、少女ヲ殿中ニ  
入レ、日夜火ヲ燒カシム、親戚終夜、戶外ニ來リテ、  
爲メニ火ヲ助ケ、少女ヲ休セシム、火疎ナレバ寒  
霜早ク下テ、五穀熟セズト云、今ハ則亦之ヲ廢ス、  
物産ハ、明礬、硫黃、麻、竹器、繭、生糸、藍、茶、楮、烟草、菜種、  
小慈姑、人參、椎茸、玉蜀黍、蜂蜜等ナリ、

熊本縣地誌畧上卷終

日本原典詩集上卷  
角田本

明治十三年三月出版 版權屆

熊本下通丁角

發賣所

細流舎



定價

